

熊本の夏と冬を過ごす

“伝統構法と温熱環境”

～古川 保の「住宅閑話（かんわ）」～



講師 古川 保氏 (建築家 古川設計室(有) 代表取締役)

とき R1 7月24日(水) 19:00～(受付開始 18:30)

ところ ホルトホール 403号 大分市金池南 1-5-11 ☎097-576-7555

定員 40名・参加費 1,000円

申込みは「氏名・携帯番号、PCメールアドレス」

を記載して info@ic-oita.com まで

◆締切り 7月15日(月) ◆問合せ 090-5022-2481 (担当:川野)

講師プロフィール

1947 佐賀県武雄市生まれ

1993 「川尻六工匠」を結成

2003 熊本の木でつくる会発足

2006 第2回木の建築フォーラム「木の建築賞」

1971 熊本大学 工学部 土木工学科卒

1996 日本建築家連合会まちづくり大賞

2005 真の日本の住まい住宅コンペ林野庁長官賞

2014 劇的ビフォーアフター大賞 2014/11/2 放映

1992 すまい塾古川設計室(有)設立

1999 九州建築士会住宅コンペ最優秀賞

古川 保氏の取組みは地球環境保護、地域の山林の育成、建築技術の伝承そして空き家対策、古民家再生など、現下の課題への興味深い提案です。木材の接合部に金物を使わない伝統構法と通風を考え、吸湿性のある自然素材を使うことでエアコン無しの家を可能にする気候風土適応住宅が講師によって生み出されています。今回はその「温熱環境」と、様々な活動・経験・取組みについてもお話して頂きます。



宇佐の家 2014



自邸 2014



益城の家 2011

主催：公益社団法人 インテリア産業協会 九州支部

委託：大分県インテリアコーディネーター協会 (ICO)